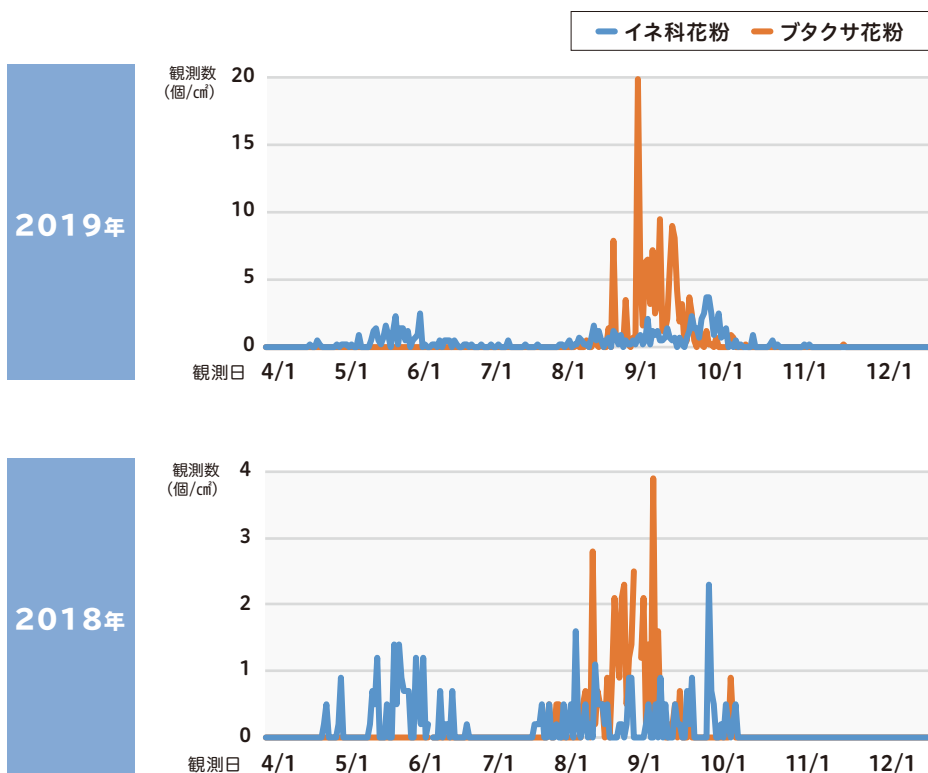


イネ科・ブタクサ花粉について

(1)花粉の飛散状況

イネ科花粉は4月下旬から飛散し始め初夏と秋に飛散のピークになります。ブタクサ花粉は9月頃に飛散のピークがあり、11月頃まで飛散しています。

下のグラフは、2018年、2019年のイネ科・ブタクサ花粉の飛散状況です。



観測地点: 山梨県衛生環境研究所(甲府市富士見)

詳しくは
こちら



「やまなし花粉症ポータルサイト」では、4月から10月まで、イネ科・ブタクサ花粉の飛散状況を随時公表しています。

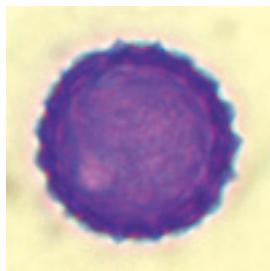




(2)原因となる植物

● オオブタクサ

アメリカから渡ってきた帰化植物。関東中心に全国に広がったキク科の1年草。3m程度まで成長する。



【ブタクサ属花粉】

大きさは直径約 $20\mu\text{m}$ の球形。金平糖状で突起が表面を覆う。

※ $1\mu\text{m}$ は、 1mm の $1,000$ 分の 1 の大きさです

Check!

花粉は、植物の種類ごとに様々な大きさや形をしています。
花粉は非常に小さいため、観測には顕微鏡を使い、色を付けて(染色)判別します。
写真は染色しているため青色に見えますが、実際の花粉は無色～黄色です。

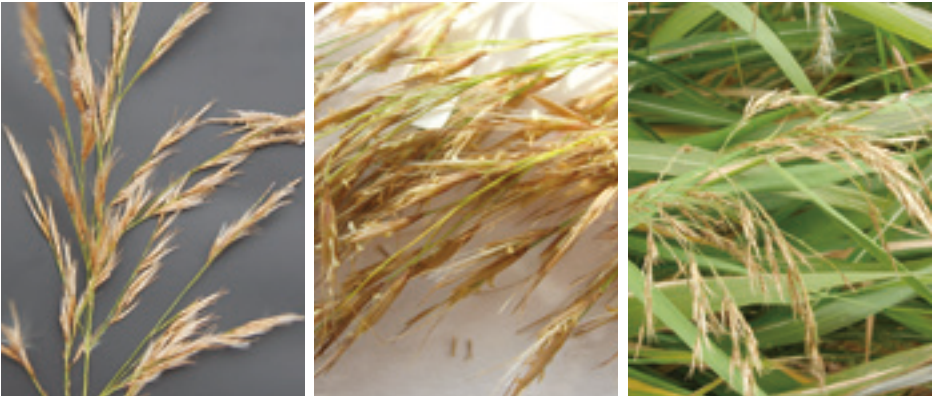
● カモガヤ

明治初期に牧草として輸入され、今は野生化したイネ科の多年草。
高さ1m以上になる。5～6月に小花が無数に開花する。



● アシ(ヨシ)

道ばたなどに見られるイネ科の多年草。
高さは3m位になり、10～12月に開花する。





● ギョウギシバ

日当たりのよい道ばた、河川敷などに見られるイネ科の多年草。
高さは30cm位になり、5～10月に開花する。



● スズメノカタビラ

人家の周辺、空き地などに見られるイネ科の越年草。
高さは3～30cm位になり群生する。通年で開花する。



● セイバンモロコシ

河川敷などにみられるイネ科の多年草。
高さは150cm位になり群生する。5月～11月に開花する。



● スズメノテッポウ

休耕水田などに見られるイネ科の越年草。
高さは30cm位になり、2～4月に開花する。





● コヌカグサ(レッドトップ)

道ばたなどに見られるイネ科の多年草。
高さは90cm位になり、5～7月に開花する。



● メヒシバ

道ばた、人家の周辺、空き地などに見られるイネ科の1年草。
高さは80cm位になり、6～12月に開花する。



● ススキ

道ばたなどに見られるイネ科の多年草。
高さは150cm位になり、5～11月に開花する。



● ナガハグサ(ケンタッキー・ブルーグラス)

道ばたなどに見られるイネ科の多年草。
高さは40cm位になり、4～5月に開花する。





● オヒシバ

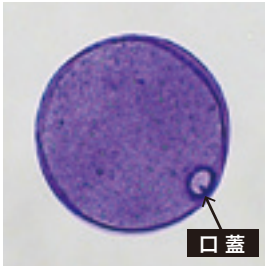
道ばた、人家の周辺、空き地などに見られるイネ科の1年草。
高さは80cm位になり、7～11月に開花する。



● シマスズメノヒエ

河川敷、空き地などに見られるイネ科の多年草。
高さは100cm位になり、6～10月に開花する。





【イネ科花粉】

大きさは直径約20～100 μm の球形。口蓋という小さい丸い形の蓋が特徴。

※1 μm は、1mmの1,000分の1の大きさです



花粉は、植物の種類ごとに様々な大きさや形をしています。

花粉は非常に小さいため、観測には顕微鏡を使い、色を付けて(染色)判別します。

写真は染色しているため青色に見えますが、実際の花粉は無色～黄色です。

(3) 草の花粉の注意点

イネ科やブタクサなどの草本花粉は、スギ・ヒノキ花粉のように遠くには飛散せず、飛散距離は短いといわれています。飛散距離は一般的には数十メートル、遠くに飛散したとしても数百メートルといわれています。このため生育している付近に多くの花粉が飛んでいます。

これら草本植物の開花時期を確認し、その開花時期には、植物が生えている場所、特に空き地や河川敷などには近づかないようにすることが重要です。

